



なくせ! 原発10.30福島大集会

2011年度 上半期収支結果と下半期の課題

専務理事 長澤 清光

厚生協会だより

2011年11月21日
第 310 号

発行
(財)宮城厚生協会

〒985-0835
宮城県多賀城市下馬
二丁目13番7号
TEL 022-361-1113
FAX 022-361-1124
発行人: 長澤 清光

全役職員の皆さんの奮闘で上半期の経常損益3億50百万円の黒字、当期損益3億39百万円を確保できたことに感謝申し上げます。

厚生協会の2011年度の経営目標は、移行期限が迫った「公益法人認定取得」を行える道筋をつけるために、東日本大震災の各病院・事業所の被災、7億円によって陥った債務超過▲4億61百万円を解消し、少なくとも純資産3百万円以上を確保する経営再建を一気に進めることです。

そのため、厚生協会理事会は「震災の影響を乗り越えて、全事業所の力で経常損益4億56百万円（当期損益5億43百万円）を確保することが債務超過を解消し、厚生協会の事業継続を確実にする絶対的な条件」として取り組んできました。

1、上半期経営到達の特徴

■上半期経営到達は法人全体で事業収益の増加の下で予算利益を確保しました。経常損益は3億50百万円の黒字となり、当期損益は3億39百万円余りの黒字になりました。当期利益は予算1億49百万円に対して1億90百万円増加しており、前年同期実績から2億70百万円ほど改善しています。

■事業収益は73億77百万円を確保し予算を1億05百万円超過、前年実績から58百万円ほど増加しました。医業収益は予算を1億17百万円超過し、前年実績から1億54百万円ほど増加しています。内訳では入院収益が予算比93百万円増、前年比2億39百万円増と予算目標及び前年実績を大きく増加しています。一方、外来収益は、前年比10百万円増となりましたが、震災で長町病院附属クリニックが損壊した影響があり前年比▲73百万円となりました。同じく介護収益は予算比▲13百万円、前年比でも▲95百万円となっています。

■事業費用は、予算対比で15百万円ほど上回りました。この要因は、収益増への反映もありますが材料費で予算を48百万円上下回ったことが大きいことです。人件費は退職金制度改定により引当金繰入で前年比69百万円ほど下回り、賞与支給率の引下げにより賞与繰入が69百万円ほど減少するなど、人件費全体では予算を23百万円ほど下回り、前年比で59百万円下回りました。経費は、各病院・事業所の経費節減の取り組みの努力の結果、予算を33百万円上回り、前年を85百万円下回りました。

■震災の影響を受け、外来収益、介護収益で前年比▲1億67百万円となりましたが、入院収益の伸びにより事業収益全体で予算、前年とも上回る到達となりました。入院収益の伸びは、診療報酬対応で加算届出を行い増収につながったこと、入院管理による病床稼働増の努力によるものです。全事業所・職員みなさんの奮闘に感謝すると共に、下半期の予算達成に向けて、引き続き奮闘していただくことをお願いします。

表1 半期法人損益計算書

単位：百万円

科 目	累計実績	構成比	予 算	増減額	前年度実績	増減額
(入院収益)	4,242	57.5%	4,149	93	4,002	240
(外来収益)	2,127	28.8%	2,117	10	2,200	▲73
【医業収益】	6,700	90.8%	6,583	117	6,546	154
【介護収益】	673	9.1%	686	▲13	767	▲94
〔事業収益〕	7,377	100.0%	7,272	105	7,319	58
【人件費】	4,699	63.7%	4,721	▲23	4,758	▲59
【材料費】	828	11.2%	780	48	768	60
【委託費】	522	7.1%	499	23	528	▲6
【経費】	603	8.2%	636	▲33	688	▲85
【リース料】	69	0.9%	75	▲6	84	▲15
【減価償却費】	317	4.3%	317	0	296	21
【消費税】	110	1.5%	106	4	105	5
〔事業費用〕	7,148	96.9%	7,134	14	7,227	▲79
〔事業利益〕	229	3.1%	139	90	92	137
【事業外収益】	166	2.3%	66	100	85	81
【事業外費用】	45	0.6%	48	▲3	62	▲17
【経常利益】	350	4.7%	157	193	114	235
【特別利益】	69	0.9%	23	46	5	64
【特別損失】	80	1.1%	31	49	50	30
〔当期利益〕	339	4.6%	149	190	68	271

2、各病院・事業所の状況

■坂総合病院は、当期利益で2億24百万円の黒字となり予算を32百万円上回りました。事業収益では予算を77百万円上回り、前年比1億41百万円上回りました。入院収益は予算比で1億円(103.7%)上回り、前年比で1億28百万円(104.8%)上回っています。要因として、入院の下肢動脈血管拡張術などの新技術導入や体外衝撃波破碎機等の

機器導入による反映。又、ハイルスク褥瘡加算・リハビリ充実加算・輸血療法加算の取得、入院管理での在院日数短縮の影響があり、日当円予算43,232円を上回り45,082円となりました。外来収益は、一日あたり患者数911人の予算に対して873人と届きませんでした。日当円で9,354円と予算を超過しました。事業費用全体では予算を43百万ほ

ど上回りました。材料費で予算を65百万円ほど上回ったことが予算超過の大きな要因になっています。材料費削減に向けて原価管理システムによる消費管理や価格交渉・切替、在庫削減等の取り組みを行っています。

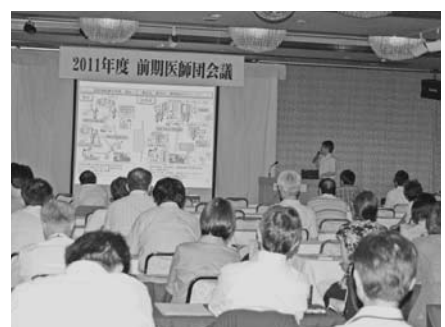
■長町病院は、当期利益で2百万円と予算を33百万円ほど上回る到達となりました。震災でのクリニック損壊の影響により、前年比で外来収益、介護収益で大きく下回りましたが、予算比では全ての収益項目で超過しています。4月5月は震災の影響により稼動減少、費用の増大で予算を上回る赤字となりましたが、6月以降は予算を上回り黒字基調となっています。特に、入院収益で予算を10百万円ほど上回り、前年比75百万円程上回る到達となったことが大きな要因です。入院一日当たり患者数は目標130人に対して128.8人となっています。新たにリハビリ充実加算など9項目の届出を行い、セラピストの増員による稼動日数及び実施単位増等で増収につながったことが大きな要因で

す。下期入院稼動140床を目標としています。患者数と利用率引き上げが課題となります。

■古川民主病院は、事業収益は予算に2百万円ほど下回りましたが、事業費用で予算を2百万円下回り、補助金収益で予算を5百万円ほど上回った結果、当期利益で予算を10百万円ほど上回りました。入院収益は予算に10百万円届きませんでした。外来収益で予算を9百万円超過しました。入院は、一般病床で一日当たり39.5床の目標に対し38.7床、介護病床は40床の目標に対し39.9床となっています。外来患者数は一日当たり185人の目標に対して188.3人と予算を超過し、日当円でも7,530円の予算に対し7,751円と超過しました。保険予防収益は健診数は前年に届いていませんが単価が上がり予算を超過しました。通所リハは震災の影響で改修工事が遅れ予算未達となりました。下半期は、外来患者数一日190人の確保、ベッド稼働目標の達成、通所リハ、健診数の確保が課

題です。

■泉病院は、当期利益で28百万円の黒字となり予算を4百万円程上回りました。入院収益は予算に7百万円ほど届かず、事業収益全体でも予算に0.2百万円ほど届きませんでした。8月からリハビリ充実加算を算定しましたが、日当円で予算39,032円に対し38,058円と届きませんでした。特に西病棟が42,000円の予算に対し39,807円となっています。震災の影響で地域の施設が入所者でいっぱいになっており退院の調整が難しく平均在院日数が延びたことが影響しています。外来は患者数で予算を188人、日当円で予算を498円超過



2011年度県連前期医師団会議

表2 事業所別予算対比／前年対比

全 体	単位：百万円					
	事業収益			当期利益		
	実績	予算/前年	増 減	実績	予算/前年	増 減
坂 合 計	4,112	4,035	77	225	193	32
		3,971	141		129	96
長 町 合 計	1,073	1,038	35	▲2	▲35	33
		1,113	▲40		24	▲26
古 川	520	522	▲2	13	2	11
		514	6		3	10
泉	786	786	0	28	24	4
		754	32		▲6	34
診療所合計	310	307	3	▲12	▲11	▲1
		329	▲19		▲5	▲7
歯 科 合 計	128	127	1	▲30	▲36	6
		171	▲43		▲15	▲15
訪問看護	256	255	1	16	13	3
		255	1		22	▲6
訪問介護	181	192	▲11	8	8	0
		200	▲19		23	▲15
事務局・公益	10	10	0	93	▲9	102
		10	0		▲107	200
協会合計	7,376	7,272	104	339	149	190
		7,319	57		69	270

表3 診療所別予算対比／前年対比(再掲)

	単位：百万円					
	事業収益			当期利益		
	実績	予算/前年	増 減	実績	予算/前年	増 減
くりこま	58	61	▲3	▲1	2	▲3
		60	▲2		▲1	0
中 新 田	51	55	▲4	▲1	2	▲3
		55	▲4		2	▲3
仙 台 錦 町	65	63	2	7	5	2
		62	3		0	7
健 セ ン タ ー	25	19	6	▲11	▲14	3
		39	▲14		▲1	▲10
福 田 町 クリニック	16	14	2	0	▲2	2
		18	▲2		0	0
若 林 クリニック	25	27	▲2	▲10	▲4	▲6
		26	▲1		▲6	▲4
北部診療所	70	67	3	4	1	3
		68	2		2	2
診療所合計	310	307	3	▲12	▲11	▲1
		329	▲19		▲5	▲7

し、外来収益予算を10百万円ほど超過しました。事業費用では予算を4百万円ほど下回っています。人件費で予算を4百万円ほど超過しましたが、材料費、経費等で予算を下回りました。下半期は入院日当円の予算確保と外来患者の確保、ディケア、健診数の利用者目標達成が課題です。

た。歯科群は、震災の影響により長町歯科が廃止となり、改めて12月から再開予定で、歯科事業の黒字化が課題であり、その対策のひとつとして医師賃金制度改定を行います。上半期予算を超える事業収益を確保しましたが、下半期予算目標を達成すること、黒字構造転換に向けた取り組みのなかで、長町病院付属歯科クリニックの成功が求められます。

3、下半期の改善課題

上半期は事業収益の増加に

より黒字化を実現することができましたが、幾つかの事業所で事業収益が予算を下回っており、下半期予算達成への不安定さが現れています。また資本は▲1億22百万円と期首より3億39百万円増加しましたが、債務超過状態はまだ解消されていません。自己資本比率は▲0・9%です。3月決算までに純資産3百万円以上を確保するためには、下半期の予算計画の取り組みを強めることが必要です。

に、各事業所での入院稼働目標、外来目標に責任を持った取り組みを強めることが必要です。全事業所、全部門・職場で下期職場目標の再確認と行動計画を論議し具体化しましょう。効率的な業務執行に心がけ、時間外労働の是正など労働効率の改善を進めながら費用管理の強化を徹底し、冬場に向かって増加する固定費の削減に意識的に取り組むことが必要です。また、下半期も引き続き、職員や友の会のみなさん、取引業者など2000人を超える方々から

下半期の医療・経営活動の成否は、いま公益認定申請を準備している厚生協会にとって、法人移行が可能になる事業経営構造をつくれるかの試金石となります。部門・職場の話し合いを大事にしながら、私たち自身の事業継続の努力とともに、民医連の事業所として震災復興への政治と行政の責任を果たさせる運動を強めなければなりません。これからも震災復興、原発問題、TPP、税と社会保障の一体改革などを許さない取り組みを強めましょう。



坂総合クリニック1号館会計窓口

ご協力をいただいた震災復興寄附金の目標(1億5千万円)達成に向け取り組みを強めていきます。

開催を！ 各地域で大盛況！

第20回 長町病院友の会



オープニング演奏の長町中学校ブラスバンド部の皆さん。着ぐるみはジャンボリーの皆さん。

こんな時だからこそ、長町病院の再建・地域の復興・被災者に寄り添う内容にしました。「あすと長町仮設住宅」の皆さんをご招待。仮設住宅とまつり会場の送迎配車、秋冬物や日用物品、模擬店食事券の提供、そして検査室職員が自腹で提供した玉コンがとても喜ばれ、ステージの飛び入りもあり大いに交流を深めました。女川の仮設住宅居住の女性が作成した小物展示販売ブースでは、明日香先生と木口先生が店頭で女川の実情を伝えながら完売。売り上げ全額を仮設住宅へ寄付しました。

10月16日 1000名

第33回 坂総合病院友の会



大好評のハンドマッサージコーナー 気持ちいい！

病院とクリニック、中庭を会場に開催。オープニングは、セッパの翔舞連の「よさこい踊り」。健康チェック、癒し、展示、手洗いチェック、各種相談コーナーは盛況。ストレッチマッサージやハンドマッサージはとくに好評。セミナー室ではフルート、ハーモニカ、コカリナの演奏に癒され、8階でも各サークルの出し物、そしてシンガーソングライターの宮澤勝之さんのミニコンサート。軽快で優しい音楽とトークに引き込まれました。閉会式の最後は「ふるさと」の大合唱で大変盛り上がりしました。

10月16日 1100名

第10回 若林健康友の会



歌とマリンバの音色が会場を癒してくれました

多くの会員さんが被災し、開催が危ぶまれた今回。「こんな時だからこそ開催しよう」と理事会で決定。準備期間は短く、例年の形態での開催は難しく協議の末、「歌とマリンバによるコンサート」「講演—放射能汚染による食と健康」の2部構成で開催し参加費は無料としました。心に染みるコンサートに拍手喝采。深刻な放射能汚染、政府の隠蔽体質、今後の課題など学び多き講演でした。「開催して良かった」。友の会の底力を痛感する場ともなりました。

10月9日 104名

第15回 泉病院友の会



職員(ZUMI ZUNDA GIRLS)の華麗なダンス

「絆深め震災復興」をサブテーマに「智茂神社大駐車場」で開催。前夜の雨もあがり、中央舞台、健康相談コーナー、模擬店、子どもの広場などにたくさんの人が集い、会場のあちこちで健康と震災復興を願い、笑顔が広がりました。今回は恒例の職員の寸劇ではなく、華麗なダンスで大いに会場を沸かせました。

10月16日 1100名

こんなときだからだからこそ 友の会健康まつり、

第17回 仙台錦町診療所友の会



広瀬所長が記念講演

「KKR ホテル仙台」で開催。広瀬所長の記念講演は「大震災関連呼吸器疾患と予防（正しいマスクの使い方を中心に）」。被災地のアスベストやヘドロ微粒子が引き起こす病気と予防について触れられました。午後は会員さんたちのオカリナ演奏、民謡、詩吟、太極拳演舞と、日頃、待合室でお見受けする顔とは違った一面もアピールされ、参加者一同、大いに英気を養った一日となりました。

11月3日 100名

第13回 くりはら健康福祉友の会



開会式であいさつする大竹所長

前日から一転して快晴となり栗駒の「さんさんドリーム」で開催。大きな特徴はなんといっても展示物の充実です。役員や会員さんから豪華な甲冑や書、精密な押し花、陶器、絵手紙、帆船模型など逸品が勢ぞろいしました。2部終了後のトン汁も好評で、秋の青空のもと収穫を祝い、交流を深めました。

10月23日 300名

第6回 大崎健康福祉友の会遠田支部



躍動感あふれるサルビニアよさこい踊り隊

大震災を乗り越えて、元気に健康まつりを成功させました。記念講演は、中嶋廉さん（原発問題住民運動宮城県連絡センター世話人）が「原発と放射能のお話し」というテーマでお話し、「原発は根本的に危険なものであり、原発からの撤退と自然エネルギーへの転換が必要。」と強調され、参加者は真剣に聞き入りました。

10月23日 450名

第12回 大崎健康福祉友の会加美支部



オープニングは葉巻の「葉鳴太鼓」

宮崎福祉センター「ほんわかん」で開催。健康まつりアピールは「震災を乗り越え、放射線から住民の命を守りましょう」。記念講演は「健康でいきいき」というテーマで佐澤由郎先生（坂病院呼吸器外科科長）が講演。「早期発見に役立つ検査、癌とは何か」など放射線の話も含め非常にリアルな内容でした。加美町、色麻町、JAよつば様から祝辞も含めご後援いただき、友の会が地域に根ざしていることをまつりが象徴してくれています。

10月3日 420名



宮城から参加の皆さん



全国青年大集会に 行ってきました

泉病院総務 吉田 若葉

「『震災だから』じゃすまされない! まともな仕事と人間らしい生活を!」というスローガンで10月23日(日)に開催された全国青年大集会に参加しました。東京の明治公園に全国から4800人の青年が集まりました。宮城からは、バスをチャーターし片道5時間かけて39人が参加しました。

被災地での解雇問題(ソニー)

全体集会の発言の最初は、宮城のソニー労組のみなさんでした。震災後、ソニーが多賀城の期間社員150名に雇い止めを言い渡したという事件をご存知でしょうか。

期間社員22名(みんな若い)が組合に加入して雇用延長を求めてたたかっています。

彼らは、ほとんどが5年以上、正社員と同じ仕事をしてきて震災のときも復旧作業に携わってきました。誇りを持って働いてきた職場をあっさりと奪われた悔しさを想像するととてもつらいです。

正社員も県外に配転とのことで、宮城県・多賀城市の経済に大きな影響を与える大問題です。(ちなみに、ソニーは地震保険で浸水被害がほぼ全額カバーできるとの決算です。)被災地での解雇問題ということで注目され、会場からは大きな拍手がありました。

韓国からも代表が来て発言していました。韓国の労働者派遣法は、低賃金で劣悪な労働環境を生み出している日本の労働者派遣法を参考に作られたそうです。その話を聞いたときには、「迷惑かけて本当にごめんなさい」と心の中で謝ってしまいました。



ソニー労組の発言

楽しみにしていた仲間との再会

実は、私が一番楽しみにしていたのは、仲間との再会でした。

全国ジャンボリー in 大阪で同じ班だった福井民医連の仲間とは4年ぶりに再会を果たしました。悩みながらも元気にがんばっているようで、うれしかったです。

数年前、学習会で知り合った石川民医連の保健師だった仲間は、金沢市議会議員になっていました。

宮城で一緒に活動し、今は県外にいる仲間たち、ボランティアで宮城に来てくれた仲間たち、いろんな集会でしょっちゅう顔を合わせる東北の仲間たち、困難な状況の中がんばっている福島の仲間たち…。

よりよい社会を目指して、全国で仲間たちががんばっているんだと思うと、自分もがんばろうと思えます。

集会後はデモ行進で、表参道を歩き、手作りの横断幕でアピールしてきました。

また、翌日も東京に残り国会議員への要請行動に参加してきました。

We are the 99%!

1%の富裕層が残りの99%を虐げている状況を変えようという、「ウォール街を占拠せよ」の若者からの発信は、いま世界中に共感を広げています。これは、大多数の人間同士がつながれる可能性があるということです。今回の集会では、全国の仲間とこの思いを共有することができたと思います。

生きやすい世の中を作るために、少しずつでもみんなで進んで行きたいです。

We are the 99%!



左が吉田さん。現地でばったり会った
坂病院の佐藤栄三郎先生(中)と